

平成31年3月14日

平成30年度 全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果について

千早赤阪村立赤阪小学校

【家庭数配布】

はじめに

- ❑ 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ❑ 各教育委員会が子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ❑ 各学校が児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。(H30.12.1 スポーツ庁)

以上を目的とし、標記の全国調査が5月、5年生を対象に行われ、本校のデータが12月中旬、スポーツ庁より返送されました。それを元に本校5年生の体力・運動能力・運動習慣について考察をしましたのでお知らせ致します。ただし本校の場合母数(男子9、女子9)が大阪府内他市町に比べ少なく、掲出の平均値が即ち本校の傾向を表しているとは言い難い面があり、また各調査結果は児童の一部を切り取って出されたものに過ぎません。これらのことをご理解いただいた上、ご一読いただければ幸いです。

①体格の傾向

身長は、男子は大阪府平均+0.9cm、女子は+3.2cmとなりました。
体重は、男子が大阪府平均-1.1kg、女子は+0.7kgとなりました。

②体力(実技)の傾向

種目	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(点)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ソフトボール投げ(m)
本校5年男子平均	13.89	16.33	35.11	38.44	47.22	9.50	144.33	23.11
本校5年女子平均	16.44	15.89	39.56	39.33	40.11	9.33	141.89	13.89

各実技の大阪府平均は男女とも全国平均と比べ全体的に低い傾向にあります。男子については、長座体前屈・ソフトボール投げが全国平均を上回りました。T得点(全国平均を基準にした偏差値)で長座体前屈+2.2ポイント、ソフトボール投げ+1.2ポイントです。それ以外の実技については大阪府平均と著しい差はありませんが、握力と上体起こしについては大阪府平均を僅かに下回っています。また女子は、握力・長座体前屈・50m走・ソフトボール投げが全国平均を、反復横跳び・20mシャトルランが大阪府平均を上回りました。T得点で握力+0.8ポイント、長座体前屈+2.3ポイント、50m走+3.2ポイント、ソフトボール投げ+0.2ポイント全国平均を上回っています。反復横跳びは+2.0ポイント、20mシャトルラン+1.2ポイントそれぞれ大阪府平均を上回っています。上体起こしは大阪府平均を僅かに下回っています。

以上の数値から今年度本校5年生は概ね全国平均に近い体力を有しているのではないかと推測しています。ただ、上体起こしが男女とも大阪府平均を僅かに下回ったことについては、この種目に類似する動きにあまり慣れていないものと考えています。

③児童質問紙回答の傾向

●運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。
→男女とも肯定的回答100%

●自分の体力・運動能力に自信がありますか。
→男女とも肯定的回答およそ90%

●あなたにとって運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツは大切なものですか。
→男女とも肯定的回答100%

これらはそれぞれ全国平均や大阪府平均を大きく上回っています。また、地域のスポーツクラブには男子は9人中4人、女子は9人中5人が所属していると回答しています。

●朝食は毎日食べますか(学校が休みの日もふくめます)
→毎日食べる 男子89%、女子100%

●夕食は毎日食べますか →毎日食べる 男女とも100%
これらは全国、大阪府平均を上回っています。

●毎日どのくらい寝ていますか →男女とも概ね8時間以上 …全国平均を上回っています

●テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見る時間
→男子の44%が平日平均5時間以上 …全国15%、大阪府19%を大きく上回っています。
→女子の半数以上が2時間以上 …全国、大阪府を上回っています。

●あなたが健康でいるために【運動・食事・睡眠】はどのくらい大切だと考えていますか。
→男女とも肯定的回答100% …全国平均を上回っています

●ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがある
→男女とも肯定的回答100%

●難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦している
→男子89%、女子100%

●自分にはよいところがあると思う
→男子が全国平均とほぼ同値、女子が全国平均より上回っています。
概ね自己を肯定的に捉えているようです。

④今後に向けて

子どもたちは概ね体を動かすことが好きで、自分の体力・運動能力に自信を持ち、自己肯定感を高く保ち過ごしているようです。また、健康維持には運動・食事・睡眠が大切だということも保護者の皆様のお声掛け、保健指導等を通してよく認識してくれています。このような好ましい傾向は今後も維持できるよう、取り組みを進めていきます。

また、ゲーム機やスマートフォン等の画面を見る時間が長い傾向があることについては、その理由を探りながら、どのようにすれば自らの健康維持に影響が出ないようにできるかを考え、実践できる主体者として子どもたちを育てていきたいと考えています。

今後ともご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます

(健康教育部)